

# 令和7年度 全国学力・学習状況調査 和泉市調査結果概要



## 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から

①全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

③「①・②」の取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 調査概要

調査実施日	令和7年4月17日(木)
調査対象	①小学校調査:小学校6年生、義務教育学校6年生 ②中学校調査:中学校3年生、義務教育学校9年生
調査内容	①小学校調査:教科調査【国語、算数、理科】/質問調査(オンライン回答) ②中学校調査:教科調査【国語、数学、理科】/質問調査(オンライン回答)
調査問題	*学習指導要領で育成をめざす、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題
今年度の調査の特徴	*児童生徒質問調査について、全面的にオンラインによる回答方式で実施 *中学校理科は、文部科学省CBTシステム(MEXCBT)によるオンライン方式(CBT:Computer Based Testing)で実施

## 和泉市の平均正答数・無解答率

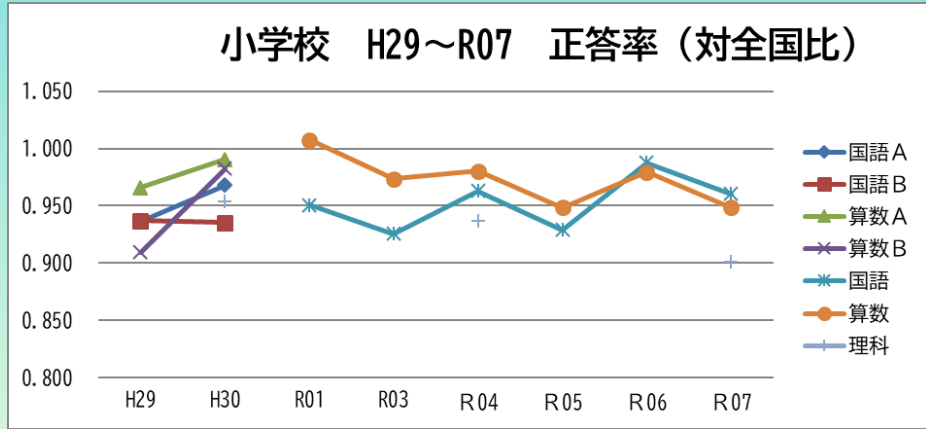
## 教科に関する調査結果概要

	小学校調査			中学校調査		
教科	国語	算数	理科	国語	数学	理科※
平均正答数	9.0/14問	8.8/16問	8.8/17問	7.1/14問	6.5/15問	2.6/6問
無解答率	3.9%	4.8%	4.0%	8.7%	15.3%	7.9%

※中学校調査理科においては、各学校により出題された問題が異なるため、共通問題の結果のみを示しています。

※本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

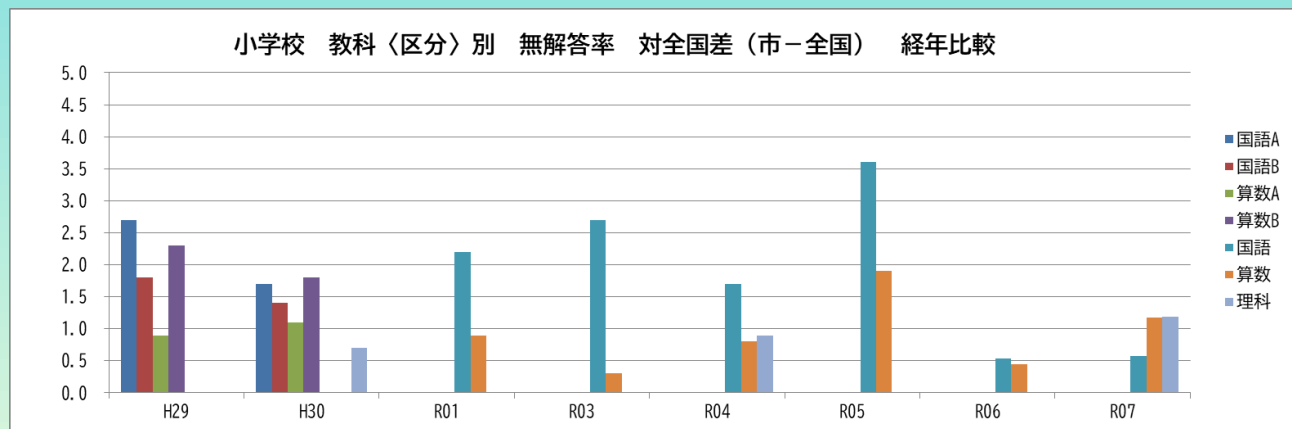
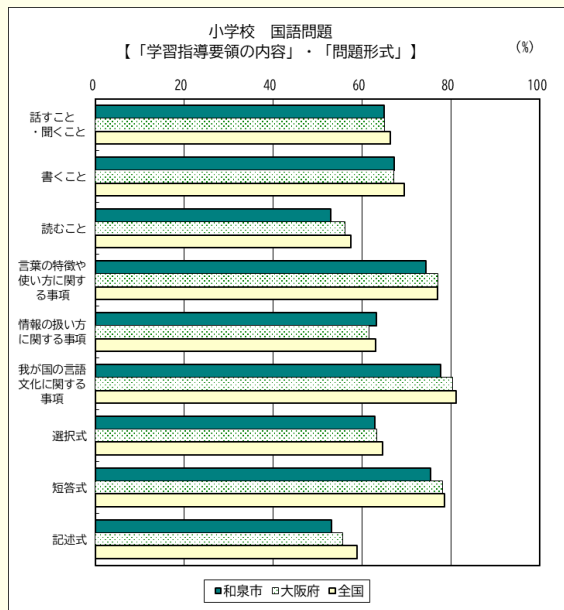
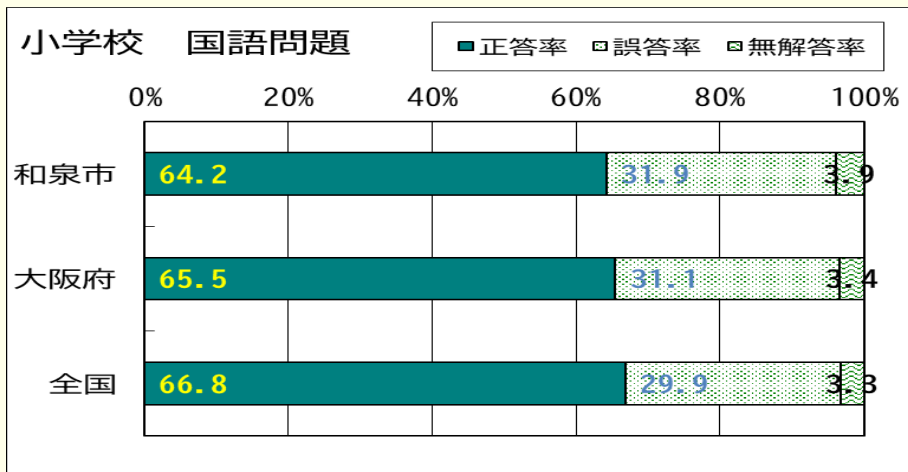
# 【教科に関する調査結果】～和泉市調査結果(小学校)～



## 小学校 国語

○平均正答率は、64.2%で全国を2.6ポイント下回り（対全国比0.960）、府を1.3ポイント下回った（対府比0.980）。

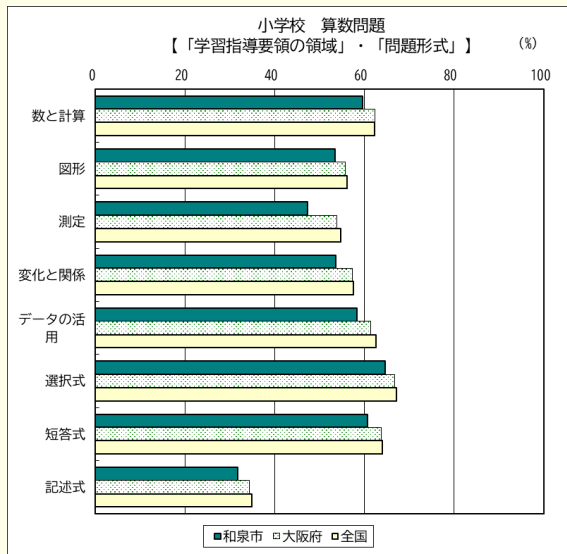
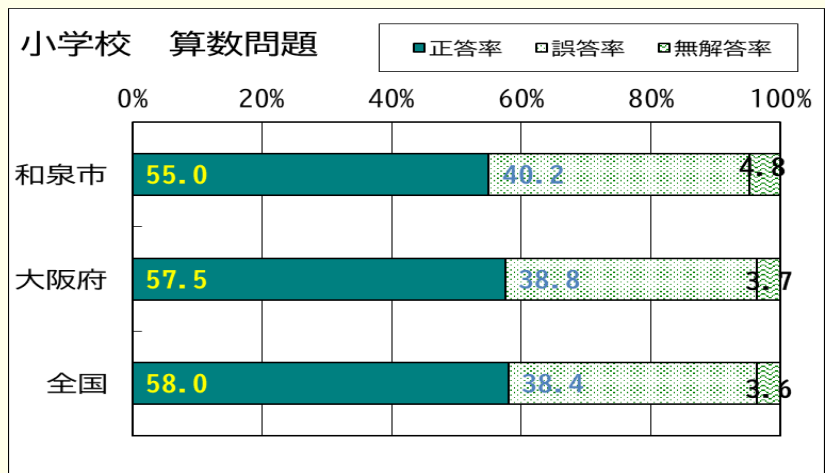
○「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」は府と同水準となっているが、全国と比較すると若干数値が低くなっている。記述式の無解答率については、改善傾向が見られるものの、依然課題がある。



## 小学校 算数

○平均正答率は、55.0%で全国を3.0ポイント下回り（対全国比0.948）、府を2.5ポイント下回った（対府比0.955）。

○全国の前正答率とは依然差が見られる。特に「測定」や「データの活用」の領域では、全国と比較すると数値が低くなっており、課題がある。また、「短答式」「記述式」の問題形式における数値は、全国と比較すると低くなっており、課題がある。



\* 正答率対全国比：市平均正答率÷全国平均正答率

\* 無解答対全国差：市無解答率－全国無解答率

\* 平成30年度までは各教科A・Bの2区分あり

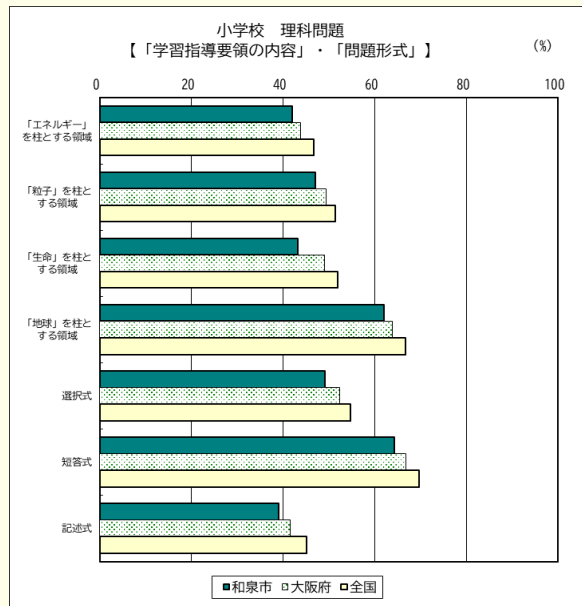
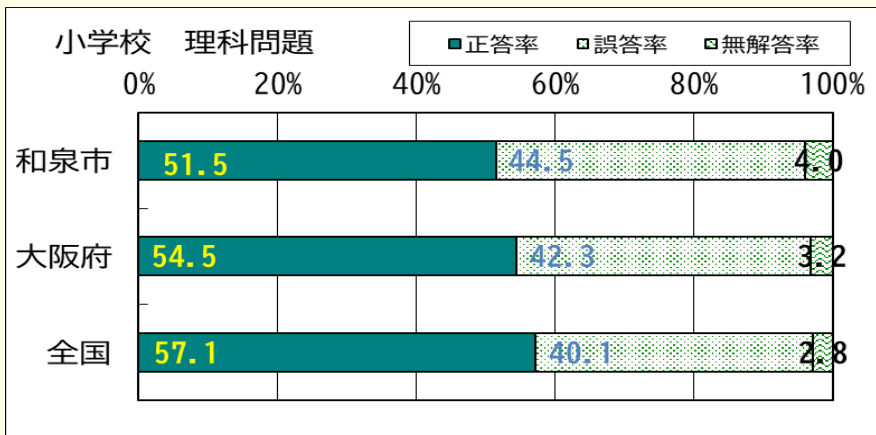
\* 令和2年は全国学力・学習状況調査は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施されませんでした。

\* 端数処理を四捨五入により行っていることから、平均正答率と対全国比及び無解答率と対全国差が一致しない場合があります

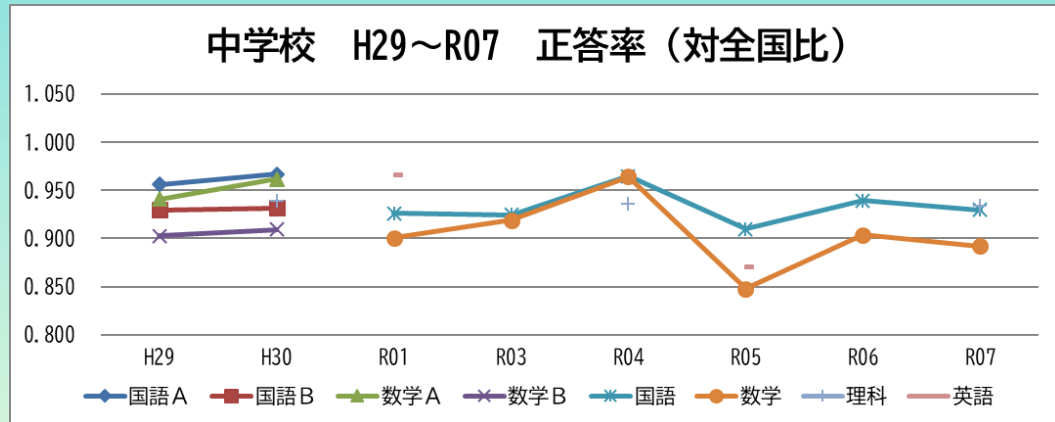
## 小学校 理科

○平均正答率は、51.5%で全国を5.6ポイント下回り（対全国比0.901）、府を3.0ポイント下回った（対府比0.944）。

○全国との比較ではすべての領域・問題形式で数値が下回っており、特に「生命」の領域に課題がある。また、「記述式」の問題形式では、全国と比較すると差が大きくなっており、課題がある。



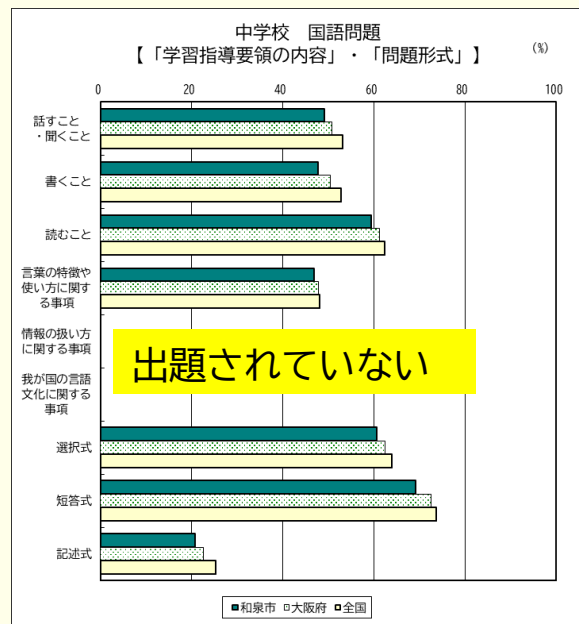
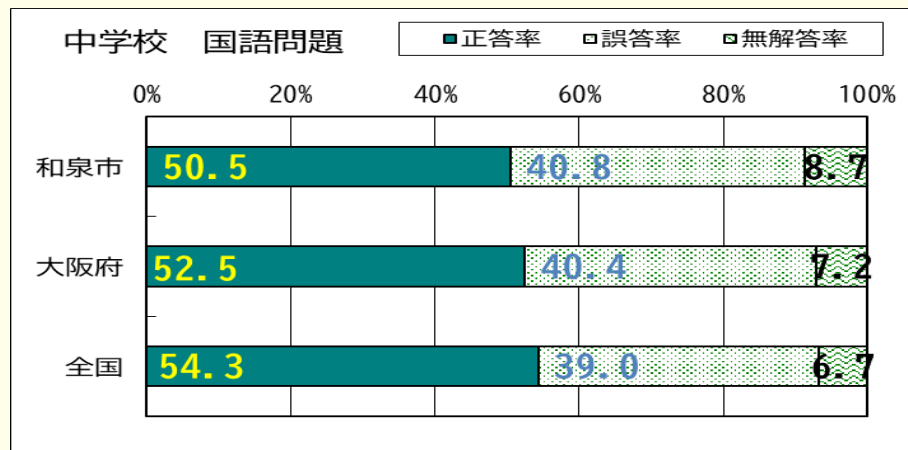
# 【教科に関する調査結果】～和泉市調査結果(中学校)～



## 中学校 国語

○平均正答率は、50.5%で全国を3.8ポイント下回り（対全国比0.930）、府を2.0ポイント下回った（対府比0.962）。

○全国と比較すると全ての領域・問題形式で数値が低くなっており、特に「書くこと」に課題がある。また、全国同様、「記述式」の問題形式に、課題がある。

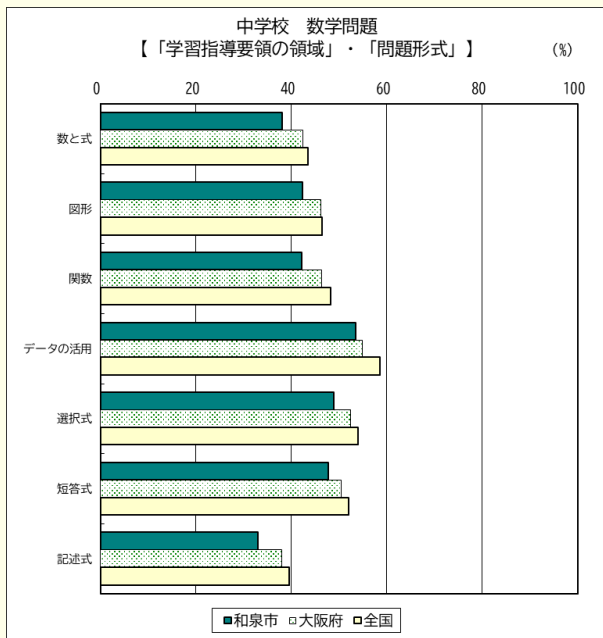
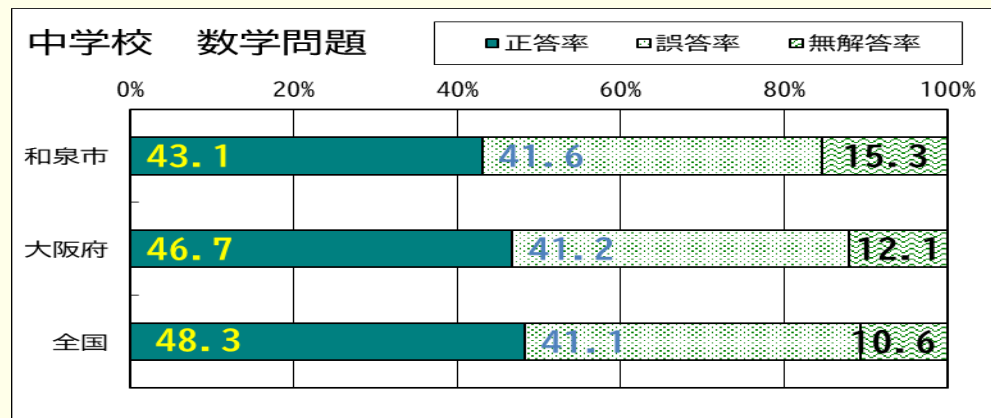


出題されていない

## 中学校 数学

○平均正答率は、43.1%で全国を5.2ポイント下回り（対全国比0.892）、府を3.6ポイント下回った（対府比0.922）。

○全国と比較すると全ての領域・問題形式で数値が低くなっており、特に「データの活用」や「関数」に課題がある。また、特に「記述式」の問題形式に、課題がある。



\* 正答率対全国比：市平均正答率÷全国平均正答率

\* 無解答対全国差：市無解答率-全国無解答率

\* 平成30年度までは各教科A・Bの2区分あり

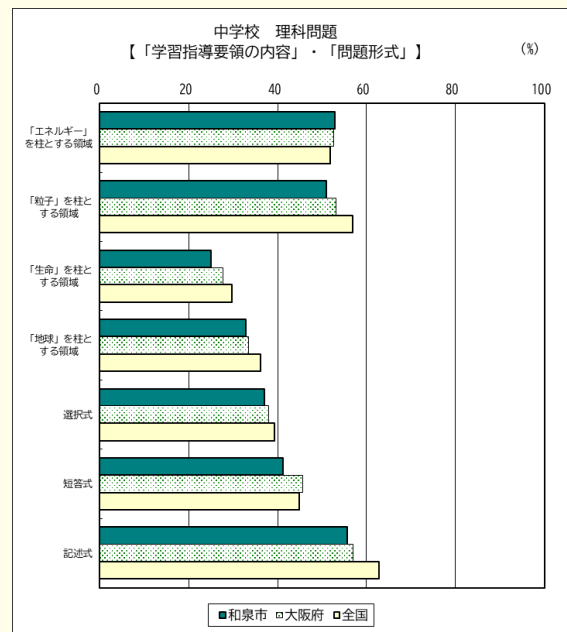
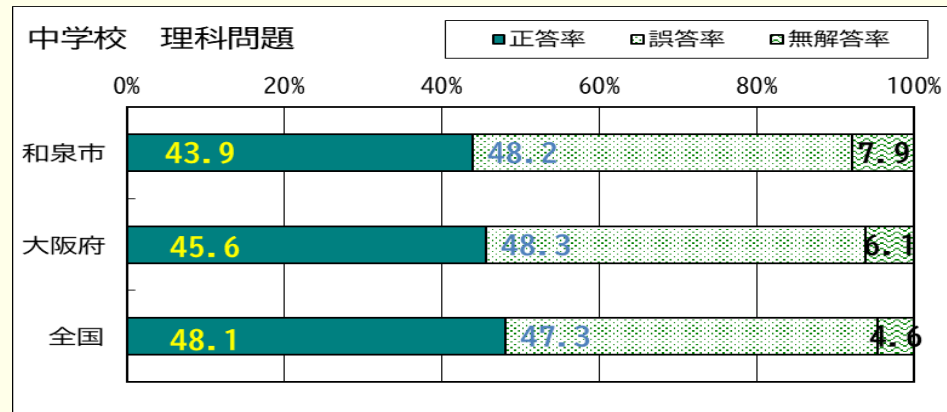
\* 令和2年は全国学力・学習状況調査は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施されませんでした。

\* 端数処理を四捨五入により行っていることから、平均正答率と対全国比及び無解答率と対全国差が一致しない場合があります

## 中学校 理科

○全校で実施した問題の平均正答率は、43.9%で全国を4.2ポイント下回り（対全国比0.913）、府を1.7ポイント下回った（対府比0.963）。

○「エネルギー」を柱とする領域は、全国を上回っているが、他の領域・問題形式で数値が低くなっており、特に「粒子」を柱とする領域、「記述式」の問題形式では、課題がある。



グラフはどちらも、和泉市全校で出題された問題のみの結果を示しています